1日目のスケジュール 9時 HTL出発 10時 MIT訪問 13時30分~17時 KOCH Institute訪問

今日のボストンは一日曇りで気温は4℃ほど、夕方には小雨が降ってきて肌寒い一日となりました。今朝は各自でブフェスタイルの朝食をとってもらい9時にロビーに集合、持ち物の確認をしたあとにホテルを出発いたしました。今日からは公共交通機関(地下鉄)を使っての移動となります。明日の班別自主研修の予行練習も含めて生徒達にこれから毎日利用する最寄り駅(Lechmere駅)の地下鉄駅MAPで出発時点から今日の目的地(Kendall/MIT駅)を乗り継ぎも含めて確認してもらいました。生徒達は予想以上にBOSの地下鉄を楽しんでいました。



MIT(マサチューセッツ工科大学・Forbes 2022世界大学ランキング1位)を訪問いたしました。最初にMITを案内する専門スタッフである長島氏によるキャンパスツアーが行われました。そこでは大学周辺に大手のIT企業(例:Google, Microsoft, Metaなど)のオフィスが隣接していて常に企業と連携しながら学生が研究を行っていることを実際に目でも確認することができました。学内には研究開発途中の新技術の展示会も行われていて未来の生活で利用される新技術を見ることができました。



午後はMITの研究施設の一つKOCH Institute (癌センター)を訪問しました。そこでは実際に研究員の教育を担当しているErikaさんに来て頂きいまの癌についての基本情報とセンターでの研究内容の一部をスライドや簡単な実験を交えて説明してもらいました。Q&Aの時間では多くの生徒が疑問に思ったことを英語で質問をしていました。最後には研究施設の一部を見せて頂き実際に研究している学生の様子も確認でき生徒にとってはとても貴重な一時となりました。







夕食はHTLの近隣にあるアメリカンレストランで食事をとりました。夕食後は明日以降の研修を生徒にとってより充実させていくために今日一日の振り返りを行いました。そこではMITで自ら積極的に質問していた生徒を中心に自分の行動についてその時の自分の考えも含めて全員に共有してもらいました。

明日も生徒たちが全力で取り組めるようにサポートしていきます。



2日目のスケジュール 9時 HTL出発 10時~12時 HBS訪問(ハーバードビジネススクール) 12時30分~17時半 班別自主研修

18時15分~20時 杉山氏の講話 20時~21時 Reflection

今日はボストン市内全域に豪雨と強風波浪注意報でるほどの悪天候となりました。日中には雨から雪に変わるほど寒さもきびしくなり、生徒にとっては班別自主研修もあり体力的にも過酷な一日となりました。

今朝はHTLを出発する前に各グループの班別自主研修のスケジュールを最終確認をして、グループによっては悪天候でも余裕をもって行動できるスケジュールに変更をしてもらいました。



HBS (ハーバード・ビジネススクール) で起業家精神 (アントレプレナーシップ) を専攻している杉山さんとHKS (ハーバード・ケネディスクール) で公共政策 (Public Policy)を専攻している山口さんに講話をしていただき、高校生のころから現在にいたるまで2人の歩んできた道と将来のビジョンについてお話していただきました。また、ハーバードの授業はディスカッション中心で様々な意見交換ができるよう世界中から多種多様な学生が集まってお互いがサポートし合いながら勉強していることを教えていただきました。最後のQ&Aで驚くほど多くの生徒が2人に質問をしていました。講話の後はキャンパスツアーを行い、普段学生が使用している教室にも案内してくださいました。







午後はハーバード駅から各グループの班別自主研修がスタートしました。 せっかくなのでハーバード大学の創設者であるJ.ハーバードの銅像を見に 行ったグループもありました。各グループのリーダーには悪天候なので無理を しないようお互い助け合って無事ホテルに遅れないようにホテルに戻ってくる よ伝えました。生徒のなかには店員に英語で値下交渉するなど常に挑戦している様子がうかがえました。





夜は日本人起業家の杉山氏をホテルにお招きして講演をしていただきました。杉山氏は「異文化ビジネスコンサルタント」として現地で様々なビジネスパーソンをサポートしています。

生徒には日本とアメリカでの考え方の違いなどを具体的な例をもとに紹介してくださいました。

講演の後はリフレクションを行いました。昨日同様に今日一日で自ら挑戦を実行した生徒を選抜して各自が実行した挑戦とそれにともなって感じたことをみんなに共有してもらいました。明日はAMが班別自主研修で午後はフロリダへ移動となります。明日も生徒たちが全力で取り組めるようにサポートしていきます。

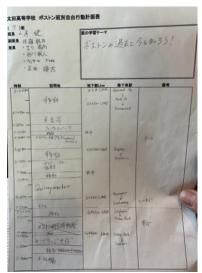
3日目のスケジュール 9時 HTL出発 9時~12時 班別自主研修② 13時 HTL出発 13時半 BOS(ボストン) 空港着

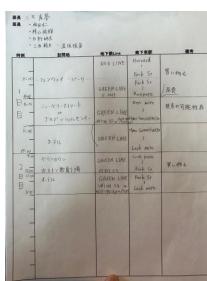
15時29分 BOS空港発 18時30分 MCO (オーランド) 空港着 20時15分 HTL着

今日はボストン市内の気温は1℃と冷え込んでいましたが昨日とは違って快晴となりました。今日はBOS最終日となります。各グループの行程表を最終チェックした後にそれぞれがHTLから出発しました。昨日の班別自主研修の経験を得てスケジュールを大幅に変更したグループもあれば当初の行程から変更しないグループもあったり、各班はリーダーを中心に話あって決めたプランをもとにHTLを出発いたしました。

各班のリーダーには別れる前に全員に班別自由行動での注意事項と班長には責任をもって他のメンバーをまとめて集合時間の17時に全員が無事に元気に戻ってくるように伝えました。







集合時間の12時になると続々と生徒達がHTLに戻って来ました。生徒のなかにはショッピングを楽しんだようで両手には買い物袋でいっぱいの生徒もいました。しかし残念ですが1班だけが集合時間に間に合わずに遅れてしまいました。他の班は絶対に送れないようスケジュール変更したり余裕をもって行動するなど先を見て考え行動することができたのに対して、遅れた班は昼食購入時のでレジが混でいたため予想以上に時間がかかってしまったのが原因でした。この経験を今後のかれらの学校生活に必ず活かして欲しいと思っています。







BOSからMCOまでは約3時間のフライトでしたがBOS空港とMCO空港ともとてもとても混んでいて予想以上に空港に到着してから搭乗まで時間がかかりました。MCOに到着すると気温は15℃でBOSから来た生徒にとっては一気に南国に来た感じでした。空港内には各ターミナルを結ぶ電車が走っていてど空港が町のよう機能をおっていたことに生徒は驚いていました。まな空港からホテルまでのバスも電車のような大きさでアメリカの広大なサイズ感に圧倒された一日でした。

明日から研修後半になります。明日も生徒が全力で取り組めるようサポートしていきます。

4日目のスケジュール 7時45分 HTL出発 9時〜10時半 Boeing社訪問 11時半〜12時 NASA研究者による講話 12時10分〜12時20分 Lunch

13時半~14時半 15時 ~15時半 16時~16時半 17時半~18時 20時半~21時 NASA Workshop NASA Museum訪問 NASA職員による講話 太田高校OBによる講話 HTL着 & Reflection

今日のオーランド市内の気温は26℃と日中の日差しも強く真夏のような天気となりました。ただし、日本の真夏と違って湿度が低く日本のような蒸し暑さは全く感じなく、心地よさを感じる暑さでした。今日からNASA研修がスタートいたします。

最初に訪問したのが大型旅客機メーカーで知られるBoeing社になります。Boeingの本社はシカゴになりますが、今回はフロリダ支社を訪問して3名のスタッフからスライドを使って主に宇宙産業への取り組みについ説明していただきました。Q&AセッションではなぜNASAと合同会社にならないのか、JAXAのH2ロケット打ち上げ失敗についての意見を求めるなど、他にも生徒たちは疑問に思ったことを積極的に質問していました。





Boeing社からNASAに行き、施設内にある講義室でNASA職員で植物学者のジョイア・D・マッサ教授から宇宙での植物栽培についての研究について講話していただきました。近い未来に人類が宇宙で生活してくための準備が着々と進められていることを実感しました。生徒達は積極的にジョイアさんに英語で質問していました。

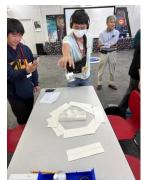




NASA Workshopでは生徒たちは限られた資材を使ってロケットの着陸カプセルを作りました。今回はカプセルが海上に着陸することを想定して2分間以上浸水することなく浮上できるカプセルの作成を制限時間内で1チーム3~4人で取り組みました。最後は各チームが知恵を振り絞って作成したカプセルを海上として準備した水が入った容器の真上から落として無事浮上できるか実験をしたところ、無事浮上したカプセルもあれば浸水したカプセルもありましたが、全員がチームとして取り組んだ成果物に対しては達成感を実感していました。







NASA Space Centerの敷地内には実物大のロケットがいくつも展示されています。それも1つではなく複数のロケットが展示されていて、その規模に生徒達は圧倒されていました。







NASA MuseumではNASAを定年退職されたスタッフにお会いしてNASAの歴史やこれまでの使用されてきたロケットについて説明してくださいました。また、過去に実際に使われちた宇宙服なども展示されていていました。

夕食会場には2人のゲストスピーカーがきてくださいました。最初はNASA職員のJohnny Ngyenさんで両親はベトナム戦争からアメリカへ亡命されてきた経緯も含めてJohnnyさんがこれまで歩んできた人生のチャレンジについて説明してくださいました。Q&Aではこれまで発言してこなかった生徒も含めて全員が自主的に英語で質問をしていました。





次に太田高校のOBで現在はアメリカ・テキサス大学で助教授を務めている田中氏から講話していただきました。田中氏は今日KSCに家族旅行で訪問しているとこに、ぐうぜん母校の後輩達に遭遇し、夕食にお招きしたところ快く受けて下さいました。田中氏は東京大学からイリノイ大学院へ留学し現在はテキサス大学で学生の授業を受け持つ以外に研究室の運営も担っています。田中氏からはの生徒へのメッセージは「世界で勝負して!」。生徒たちは世界で活躍している先輩の言葉を真剣に受け止めていました。





5日目のスケジュール

8時 HTL出発

11時~16時半 KSC(Kennedy Space Center)

11時~13時 スペシャルツアー

13時~13時半 Lunch

13時半~16時半 KSG

KSC見学

17時半~18時 18時~18時半 Dinner 佐藤君の講話

20時~21時

Reflection

今日のオーランド市内の日中の気温は26℃で快晴。今日がアメリカNASA研修の最終日となりました。 最初に訪問したのはKSCの施設内にある実際に使われているロケット発射台や格納庫の見学です。こちらは普段 では見学出来ない場所ですが、今回特別に見学させていただけました。







午後はKSC内に展示されているロケットや実際に月面着陸に使用されたカプセルなど様々な宇宙関連の展示物を見学いたしました。展示物のなかには月の石もありました。









夕食会場にはOBである佐藤君が友人2人と一緒に参加してくれました。 佐藤君は将来宇宙ロケットエンジンを開発に関わっていきたいため現在は フロリダの短期大学に留学中で今後は4年生大学へ編入して夢を達成す るために勉強に励んでいます。佐藤くんからは海外で生活する上で必要と なる英語力の習得方法やなぜアメリカへ留学する決心にいたったのかまで 限られて時間ですが、生徒目線で話してくれました。

最後のQ&Aでは生徒から佐藤君の高校時代についてや留学への決心にいたった経緯について質問がでました。

昨日打上される予定だされていた新型ロケット「SLS」と新型有人宇宙船「Orion」が今日の夕方に発射が延期されたため、その瞬間をみるため生徒たちは夕食会場の駐車場に出てロケットが夜空を舞い上がっていく貴重な瞬間をみることができました。





HTLに戻るとReflectionをおこないました。今回は総括として一人一人がこのアメリカNASA研修で学んだ事とその学んだことをこの後の学校生活でどう活かしていくのかを全員の前で発表してもらいました。 全員の言葉からは「視野が広がった」と「世界で活躍してみたい」という言葉が含まれていました。

明日は朝3時半にロビー集合でアトランタ空港経由で羽田へ戻ります。 本日でこの研修のレポートを終了させていただきます。